2017ZENKOin 東京・第４分科会のご案内

「福島と共に、放射能被曝と再稼動に反対する」

7月30日(日) 会場:シアター1010・視聴覚室（東京「北千住」駅４番出口直結）

【第一部】9:30～12:30　低線量被曝に反対する運動の交流と方針討議

・福島の報告　：佐藤八郎さん、福島の参加者
・アンケート報告：「福島駅で 200 人に訊きました」
・「放射能被ばく反対」と声を上げた
　　「ガマ人間」福島市公演：月桃の花歌舞団
・放射能健診署名運動、各地の裁判、再稼動反対、
　避難者支援の運動から

【第二部】13:00～14:30　健康被害の実態

・お話：香取直孝さん（依頼中）
　　（映画監督、千葉県松戸市）
・報告：今も続く放射能放出について。

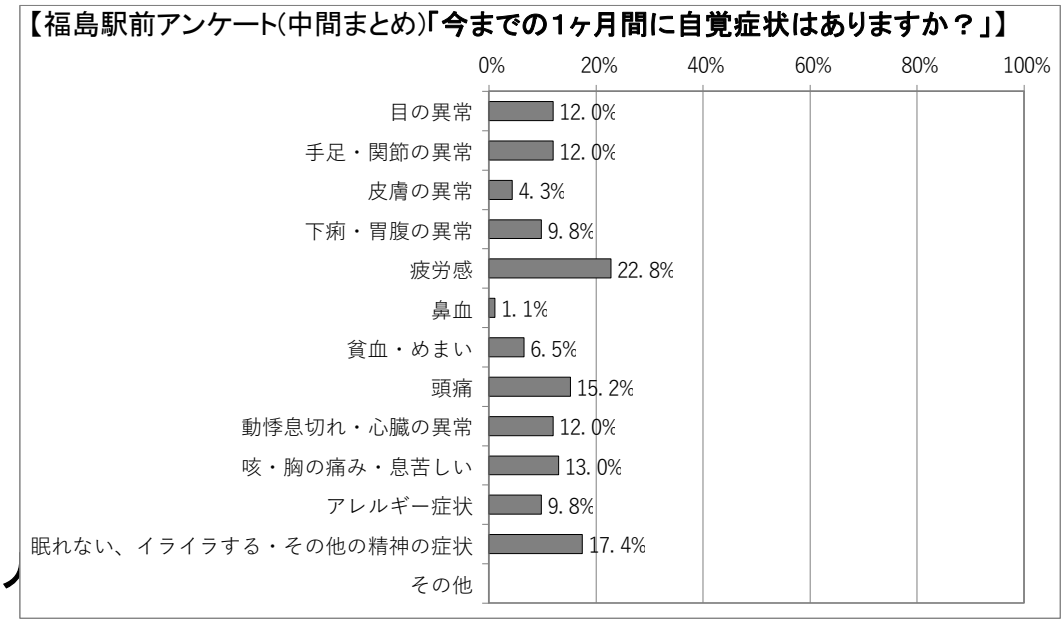
【佐藤八郎さん】
元飯館村会議員。昨年の飯館村長選挙に立候補し「避難解除を白紙に戻せ」「徹底除染・完全賠償・医療費無料化と健診の充実」を訴え、４割を超える得票の大健闘。今は「飯館みんなの会」で活動中。
写真は、
https://news.yahoo.co.jp/byline/taketosekiguchi/20161006-00062943/

この分科会の目的は、福島とともに放射能の健康被害を国に認めさせ、健康診断と医療補償、損害賠償、原発再稼動を止める運動の方針を討議・交流することです。

原発再稼動と輸出を強行する安倍内閣にとって、放射能の健康被害を暴かれることは最大の弱みです。福島や関東ではもう健康被害が表面化。そしてこれを可視化し声を上げる新たな運動が飯館村や各地で始まっています。

私たちも昨年から福島駅前などで署名＆アンケートで３００人以上の方々と対話し、ミュージカル「ガマ人間」公演を福島県内で成功させ、放射能の不安と健康の要求が県民の中に強く存在する事を確信しました。

今年の ZENKO 分科会は放射能被害を暴き、安倍内閣の原発政策に対して攻勢に転じる見通し・確信を作り出す討議を目指します。ご参加ください。



呼びかけ：

放射能健診 100 万人

月桃の花歌舞団

連絡先：小山（070-5653-7886　nobiscum@wb4.so-net.ne.jp）